

食育に関するアンケート調査について

保健福祉局 健康福祉部 健康推進課

調査の概要

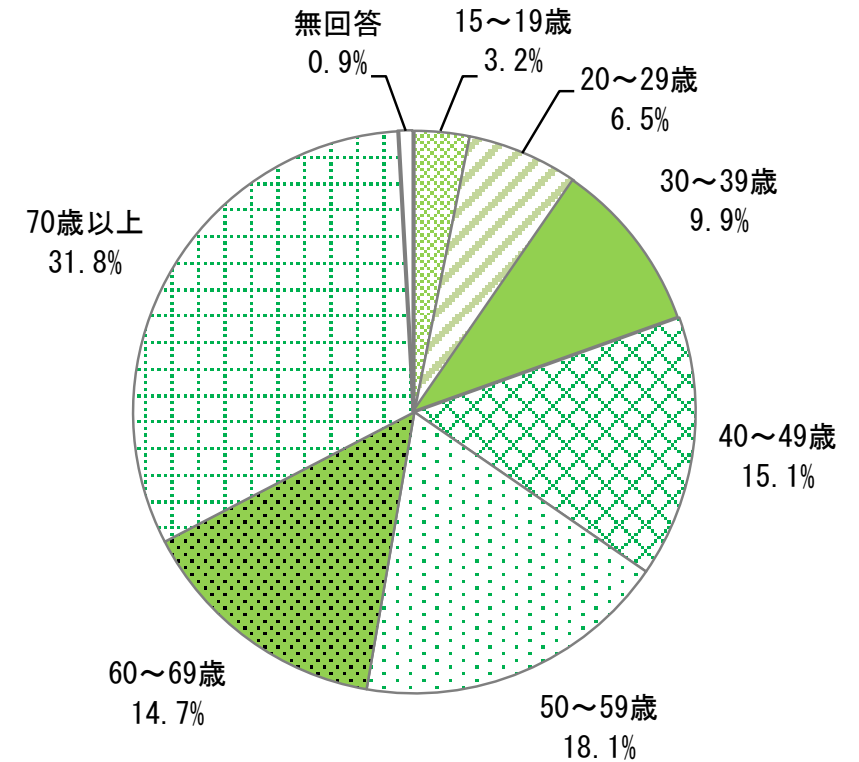
- 調査対象者

	対象者数	回収数	回収率
満15歳以上の市民	2,700人	1,269件	47.0%
市内10園の幼稚園児の保護者	1,430人	1,104件	77.2%

- 調査期間 令和4年11月1日～17日

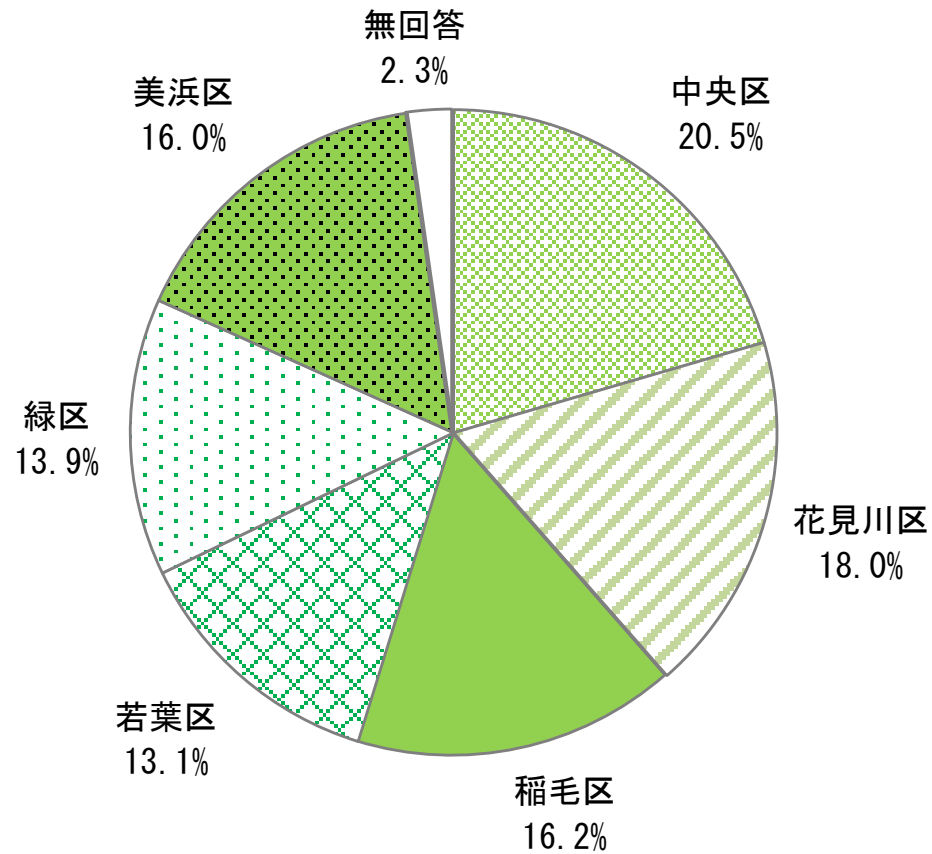
- 回答者属性（市民）

- ①年齢区分



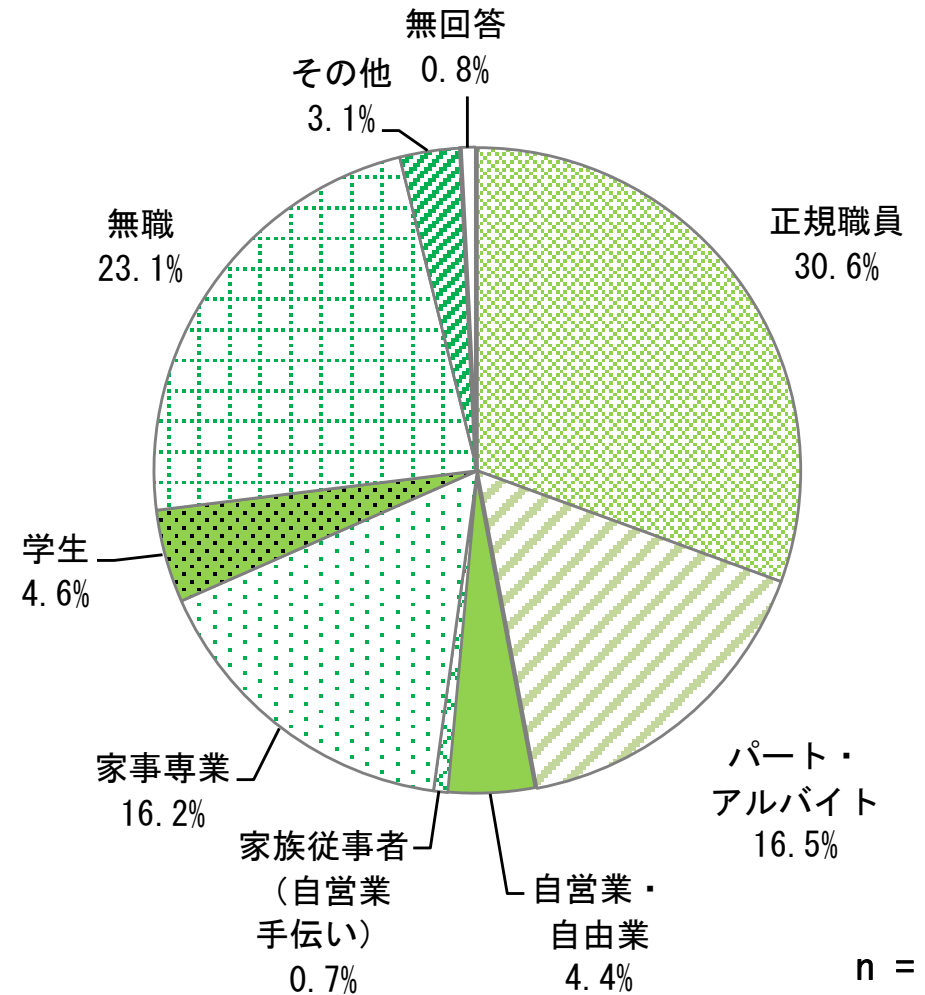
回答者属性（市民）

②居住区



n = 1, 269

③職業区分

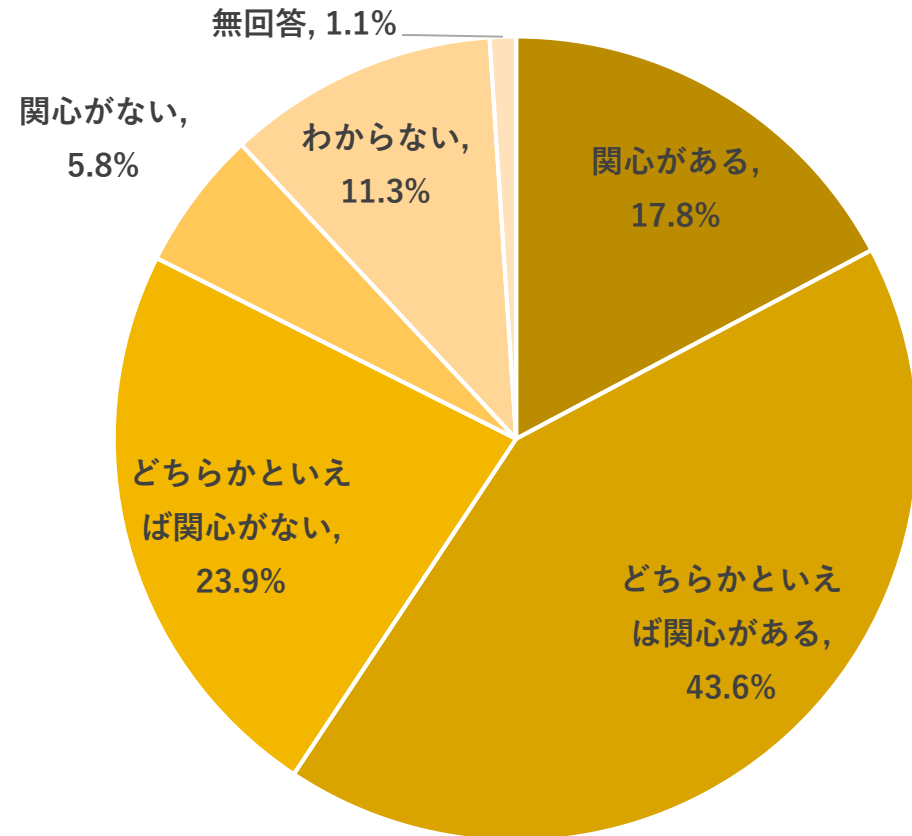


n = 1, 269

食育への関心

- 食育に関心のある人の割合 61.4%

ベースライン値64.7%からほぼ変化していない

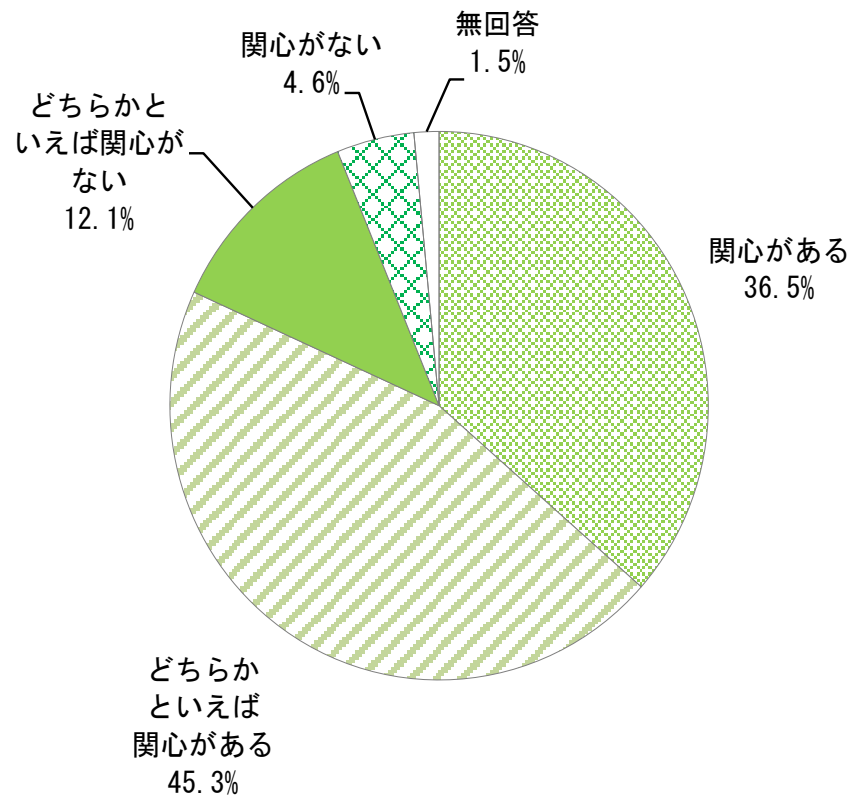


Q. あなたは、「食育」に関心がありますか。

出典：千葉市の健康づくり（生活習慣等）に関するアンケート調査（R3）

食育への関心

- 「食育」とは何かを伝えて関心の有無を聞いたところ、81.8%であった。
- 全国値83.2%と比べて同等であった。



n = 1,269

設問のリード文

※「食育」とは・・・

心身の健康の増進と豊かな人間形成のために、食に関する知識や食を選択する力を身に付け、健全な食生活を実践することができる人間を育てることです。

その中には、規則正しい食生活や栄養バランスのとれた食事などを実践したり、食を通じたコミュニケーションやマナー、あいさつなどの食に関する基礎を身に付けたり、自然の恵みへの感謝や伝統的な食文化などへの理解を深めたりすることが含まれます。

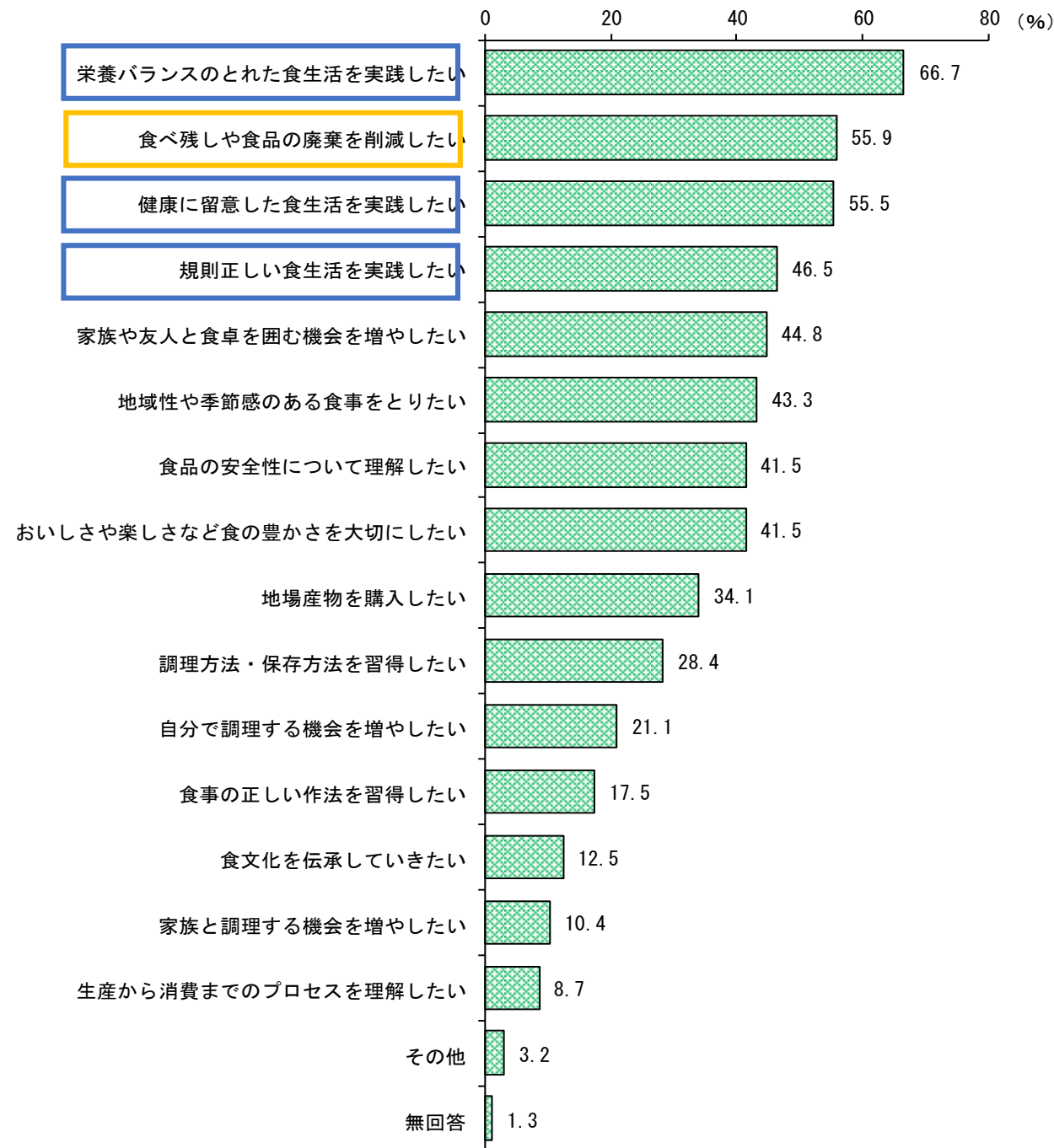
出典：食育に関するアンケート調査（R4）

食育への関心

- 実践したいと思う「食育」は、基本目標1：健康寿命の延伸につながる食育に関連する項目を選択している人が約半数を超えていた。

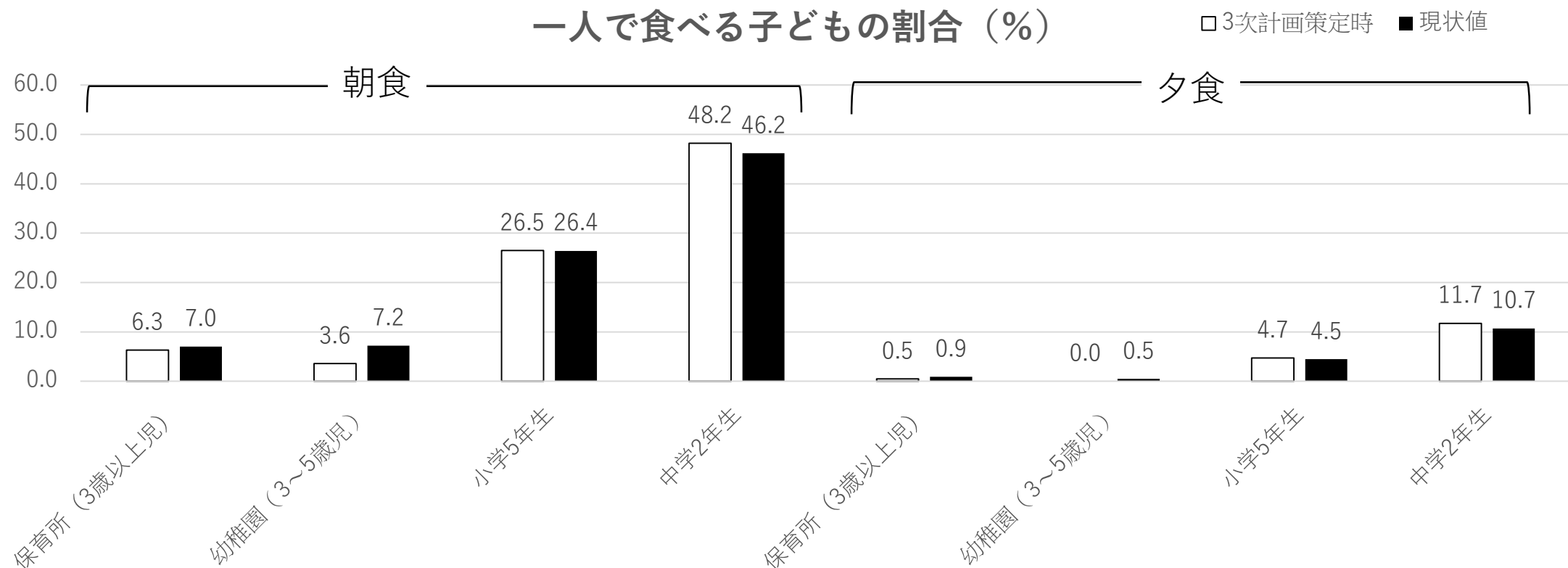
- 食べ残しや食品の廃棄を削減したいと回答した割合も高く、環境への関心も高いことが考えられる。

出典：食育に関するアンケート調査（R4）



一緒に食べる「共食」 (子ども)

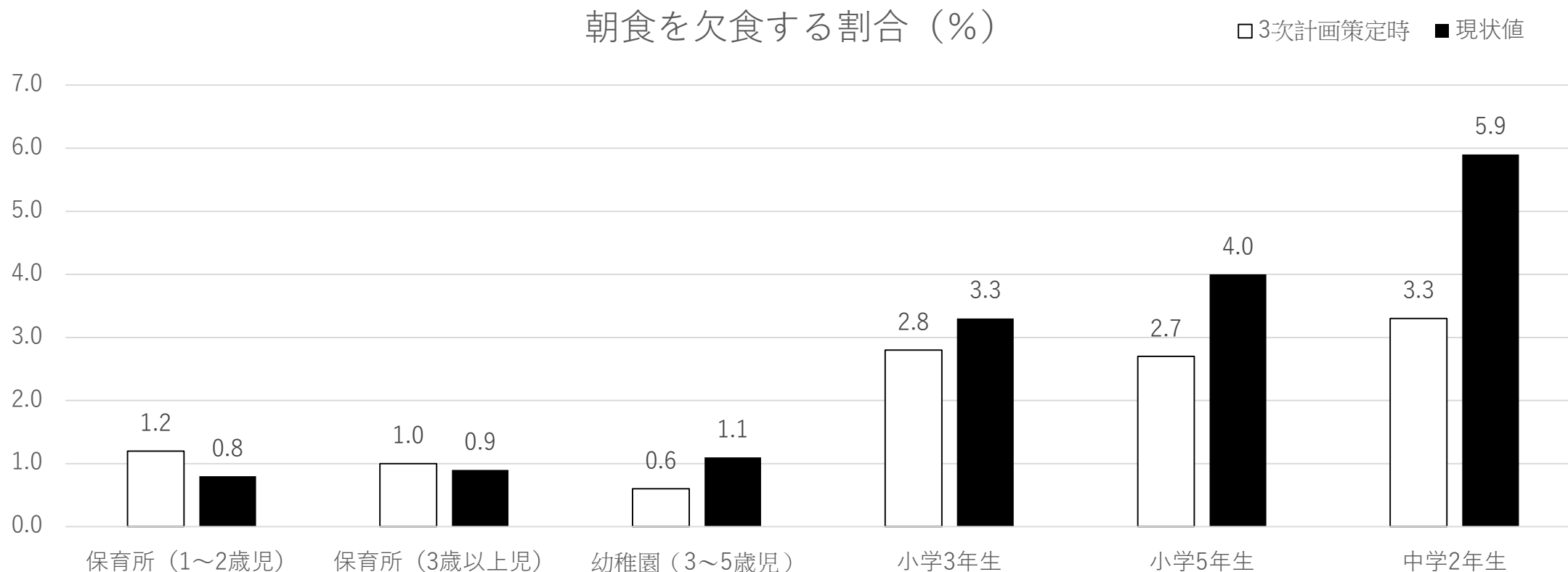
出典：
朝食及び共食状況調査 (R4)
食育に関するアンケート調査 (R4)
学校給食に関する調査 (R4)



- 朝食を一人で食べる子どもの割合は、保育所・幼稚園では3次計画策定時と比べ、高く、中学2年生は低下した。
- 夕食は、朝食よりも一人で食べる割合は低い。

朝食の欠食（子ども）

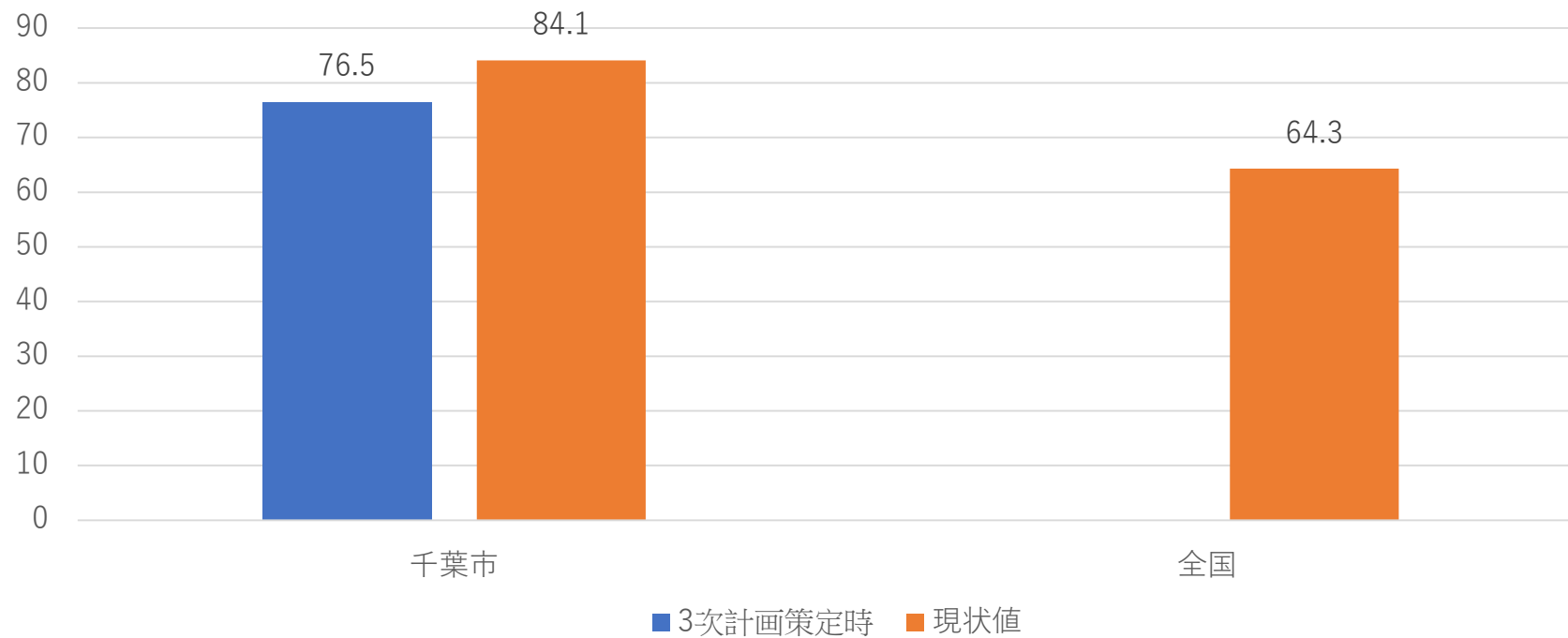
出典：
朝食及び共食状況調査（R4）
食育に関するアンケート調査（R4）
学校給食に関する調査（R4）



- 朝食を欠食する割合は、3次計画策定時に比べると保育所入所以外の区分で高くなっている。

生活習慣病予防のための食生活

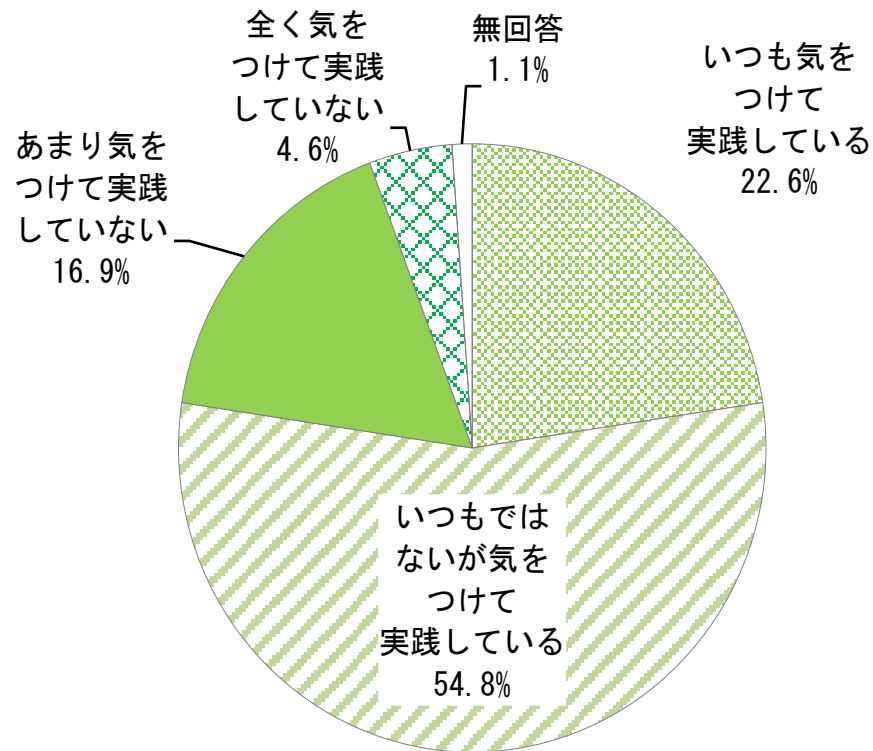
生活習慣病の予防や改善のために、ふだんから適正体重の維持や減塩に気を付けた食生活を実施している人の割合（％）



- 健全な食生活を実践している人の割合は増加し、目標を達成した。（目標「増加」）

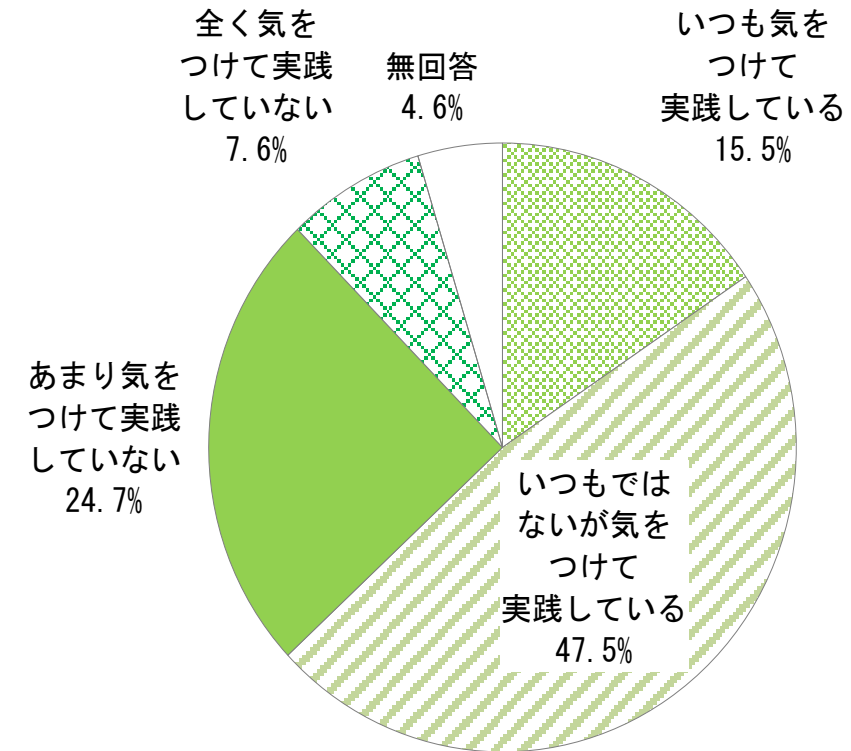
生活習慣病予防のための食生活

適正体重の維持に気をつけた
食生活を実践している人の割合



n = 1,269

減塩に気をつけた
食生活を実践している人の割合

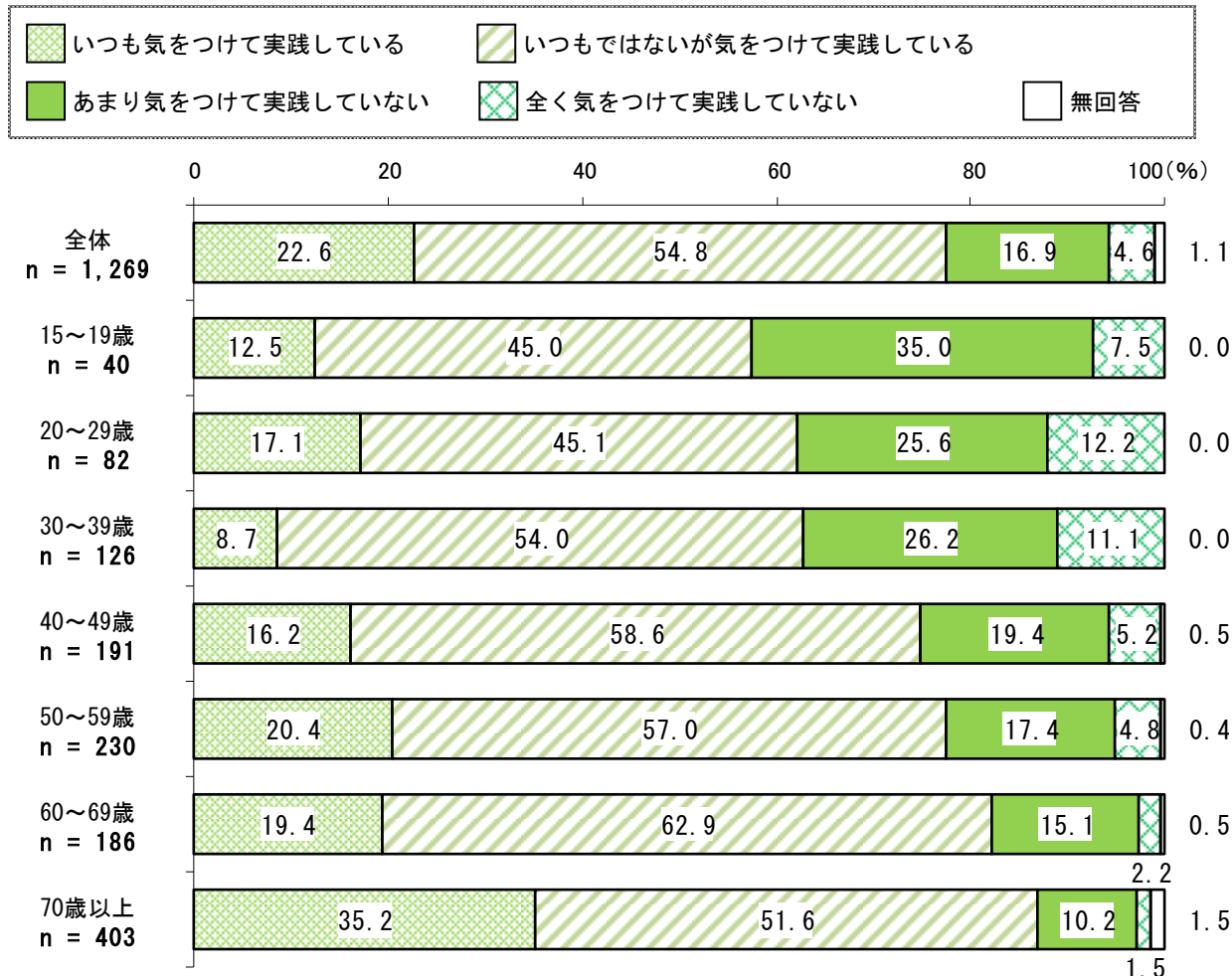


n = 1,269

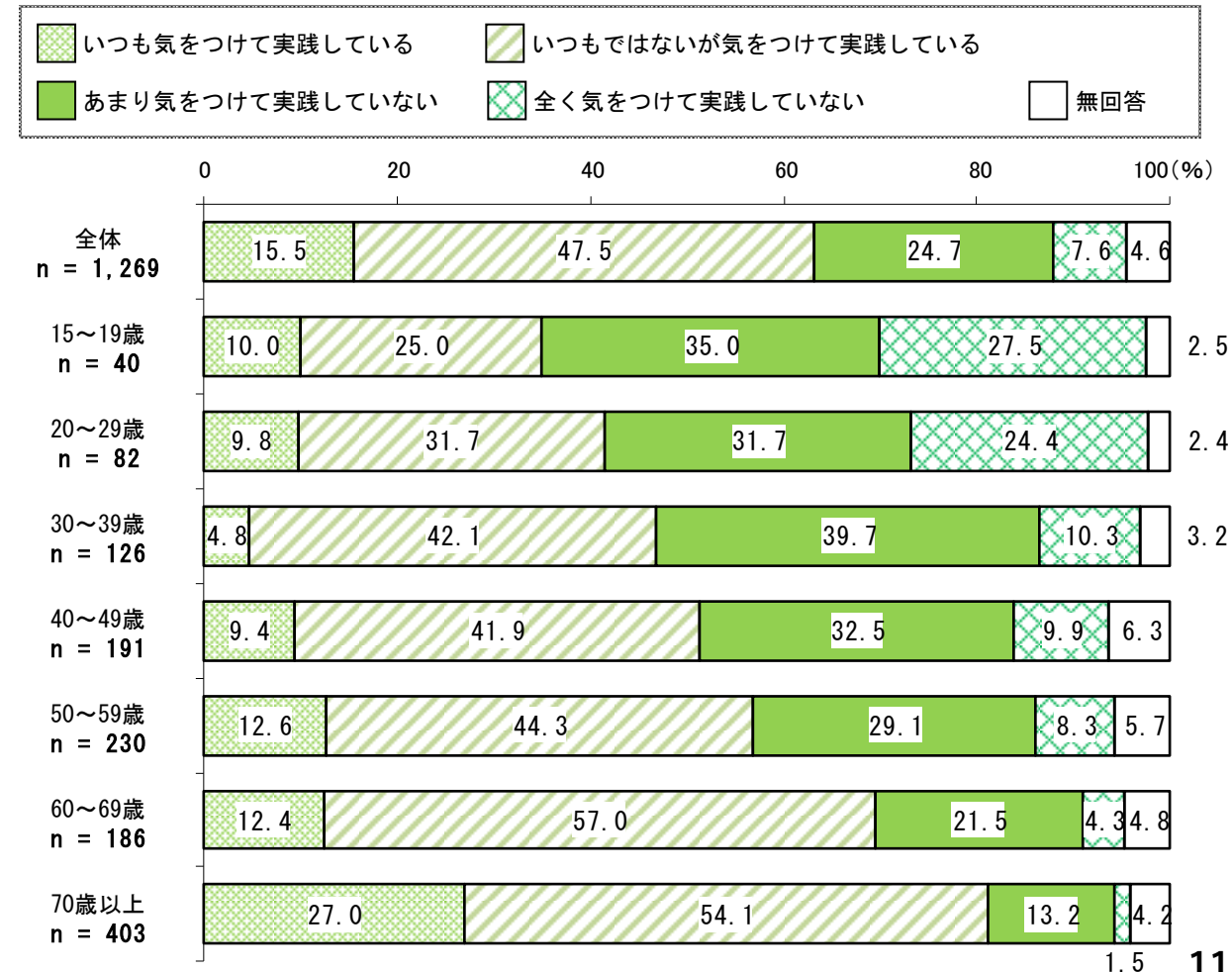
- 健全な食生活の実践として、減塩（63.0%）よりも適正体重の維持（77.4%）に気をつけている人の方が多い。 10

生活習慣病予防のための食生活（年代別）

適正体重の維持に気をつけた
食生活を実践している人の割合



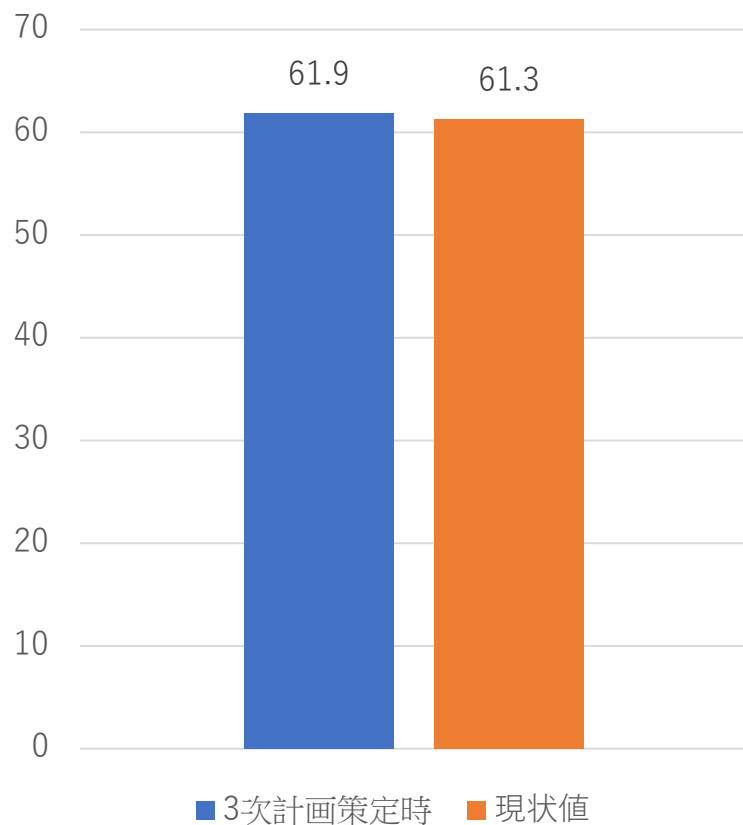
減塩に気をつけた
食生活を実践している人の割合



咀嚼

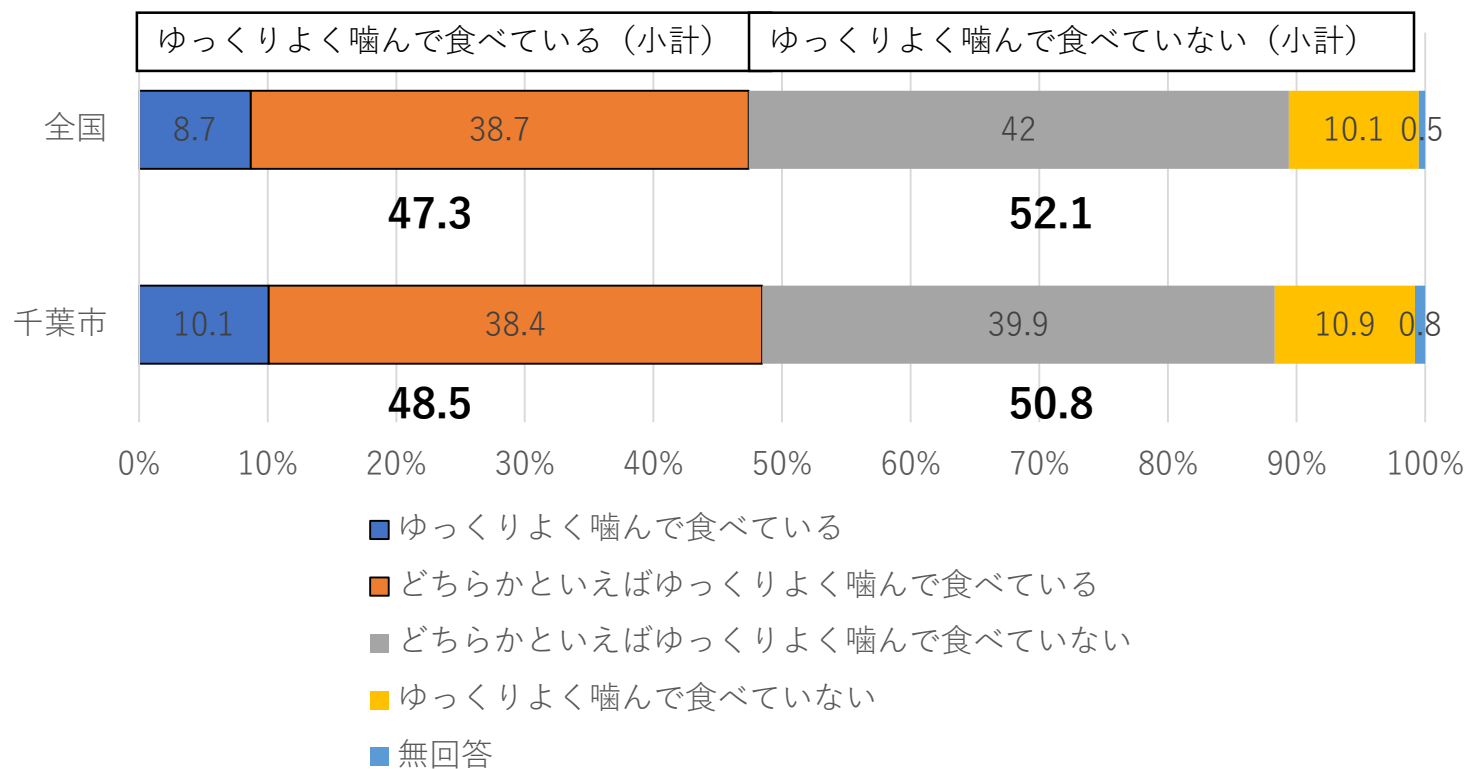
出典：
千葉市の健康づくり（生活習慣等）に関するアンケート調査（R3）
食育に関するアンケート調査（R4）

よく噛んで味わうように心がけている人の割合（%）



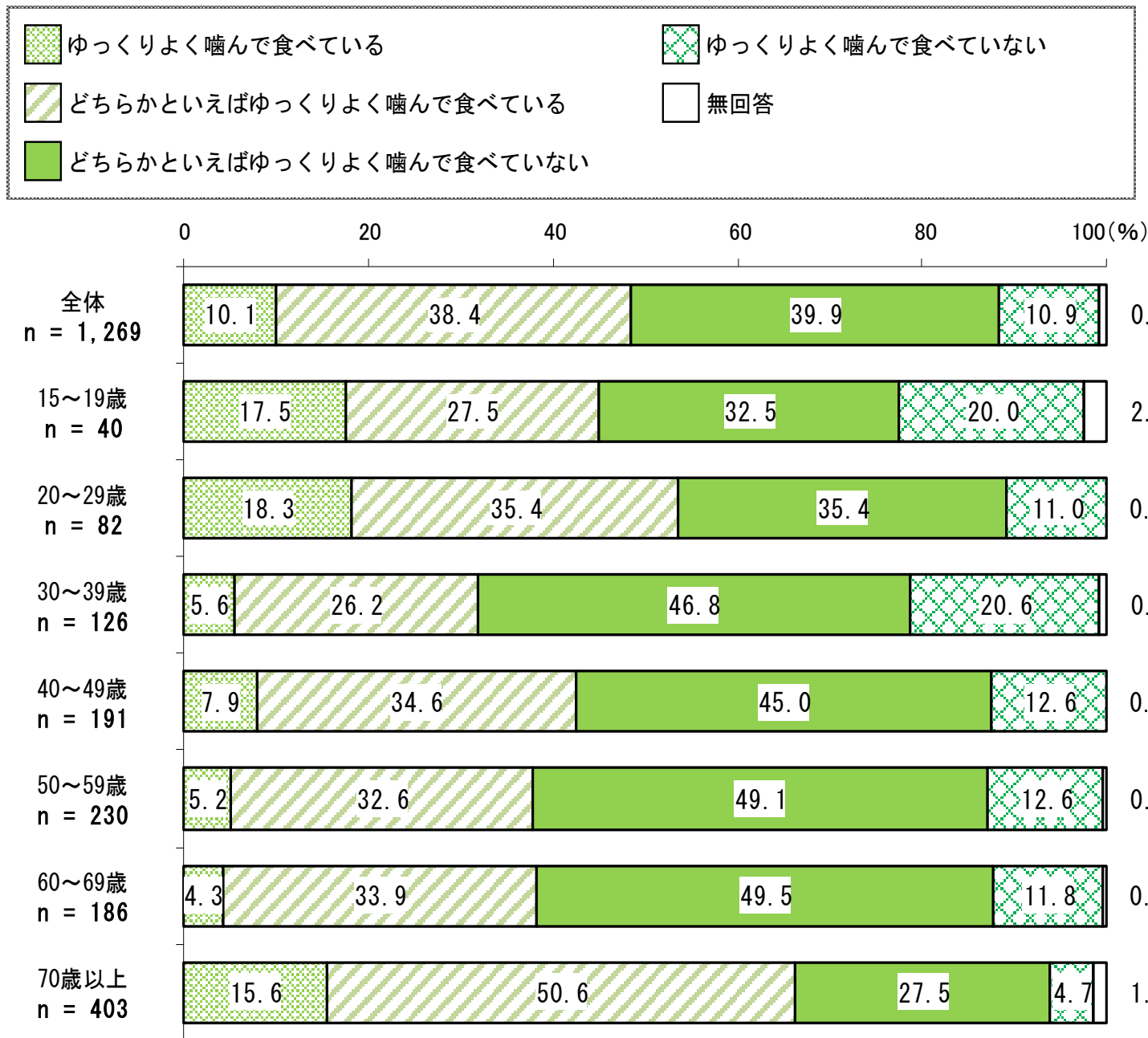
- よく噛んで味わうように心がけている人は、3次計画策定時より変化なし。
- ゆっくりよく噛んで食べる人を全国と比べたところほぼ変わらなかった。

ゆっくりよく噛んで食べる人の割合（%）



咀嚼

- 年齢別でみると、『よく噛んで食べている（計）』は【70歳以上】が66.2%と他の区分に比べ、高くなっている。
- 一方、『よく噛んで食べていない（計）』は【30～39歳】が67.4%と他の区分に比べ、高くなっている。



出典：食育に関するアンケート調査（R4）